

「友達の輪」

日本人はカレー好きです。留学生に誘われて様々なインド・ネパール料理を食べる機会が増えると、やがて作り方を見聞きし、材料を買い込み、自分でも作る。というパターンがいつしかできてしまいました。そのうち身近な人だけでなく、ちょっとでも見知った人でカレー好きなら、一緒に食べようよ。ということになりました。我が家では時々「curry party」や「tea party」そして「おまけ」としてサリーなどの着付けと記念写真会？というのをやるのですが、おかげで結構知らない人たち同士が友達になります。大学での古文書仲間、テニス仲間、ポーセリンペイントのお友達、陶芸のお友達、ご近所さん（この中には先日退職された東雲大学の水町さんも入っています）、大学の職員、日本人学生、留学生、などです。その友達も加わりますので、結局あつというまにお友達の数は増えました。残念ながら我が家はそんなに広くはありませんので10名くらいが限度です。「今度いついつカレーを作るんだけど来ない？」と声を掛けます。10名くらいになれば締め切り。パーティーが終わり、お鍋に残ったカレーやチャパティやサフランライス、みんながきれいにパックをして持って帰ってくれます。家で待つ家族にも味のおすそ分けというところ。ボランティアは早めに来てお料理や飾り付けを手伝ってくれます。中には台所の片づけが得意なお友達もいるので助かります。我が家が初対面なんてことも珍しくありませんが、そんなことは気にしない！参加できない人はしばらく待てばまた次の機会がありますし、そのうち別のお友達が別の機会に呼んでくれます。「気楽に、おいしく、楽しく、安上がり」ひと時を共有するのがいいのでしょうか。

先日も小物雑貨を扱っているお友達の家におよばれました。全く関係のない留学生も一緒に連れて行きました。参加者は14名。手作りのお料理をいただきながら、チェロ（ただし素人）の生演奏あり～の、鳴子を使った踊りあり～の、三弦の演奏あり～の、「野に咲く花のように」という歌詞がなぜかテーブルの上に置かれていて、その歌をうたい～の、中国人の先生は本場スペシャル餃子を作り～の、私は隠れてこっそり膝上のミニピン達にご馳走を食べさせ～の、ついには全員でハワイアンダンス、とほんとうに何でもあり！男子留学生はインスタント着物を着せてもらい、にわか藤娘（藤をのこ？）のできあがり。肩肘張らない楽しいパーティーでした。

以上、気の向くままに書き連ねながら「みんなが気軽に楽しめる」というのはとても大切なことだとあらためて思うようになりました。格式ばったおもてなしもいいのですが、やはり気楽なのが共に長続きするコツでしょうか。いつもの口癖の「ポチポチ」くらいがちょうどいいのではないかと思います。それともうひとつ。「一度の出会いをそこで終わらせない」というのも重要なポイントでしょう。今はe-mailが発達していますので写真の添付もできます。たまにはお礼の絵葉書を送る、なんていうのも素敵ですね



髪は紙で作りました。着物は上下に分かれていて、あっという間にできあがり。



真ん中の女性が招待してくれました。友禅描きのお師匠さんです。



左の女性がダンスの先生。いきなりハワイアンが始まりました。



「ティーパーティー」全員ポーセリンペインティングの生徒です。
この中には古文書仲間もいます。



インドの独立記念日は8月15日です。水町さんも一緒に。真ん中の女性はポーセリンペインティングの先生で、友禅描きの先生とはお友達です。友禅の先生はポーセリンの先生でもあります。